

授業科目	障害児保育				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21623J		
開講年次	3	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	<p>実務家教員として、障害児施設での経験を踏まえて、障害のある子どもの保育（保育所・専門機関・家庭での）についての基本的な歴史や理念の変化を理解し、その発達、障害の特性に応じた保育の在り方、他の専門機関・職との連携、保護者・家族の支援について、演習を通じて理解し、実践的な技術を学ぶ。</p> <p>授業の方法として、各回の課題ごとに担当を分担し内容を吟味し発表、討議の機会を設ける。授業参加の学生は予習し準備をしておく。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。 2 個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。 3 障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について理解する。 4 障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解する。 5 障害児やその他の特別な配慮を要する子どもの保育に関する現状と課題について理解する。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	0	20	30	100	
知識・理解 (DP1-1)			10		5		15	
知識・理解 (DP1-2)			10		5		15	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10		3		13	
思考・判断 (DP2-2)			10		2		12	
関心・意欲 (DP3-1)			5		3		8	
関心・意欲 (DP3-2)			5		2		7	
態度(DP4-1)						10	10	
態度(DP4-2)						5	5	
態度 (DP4-3)						5	5	
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)						5	5	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
障害児保育・療育を提供しているそれぞれの機関における支援の全体像を理解し、個々に応じた支援が展開できる基本的な準備が出来ている。				障害児についての理解と教授・援助・援護に必要な基本的な内容を理解している。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	オリエンテーション —障害児保育の今日的な基本的枠組みについて解説する	講義	テキスト関連部分を読み内容を把握し、課題について整理しておく。	30
2	障害の概念と障害児保育の理念	テーマについての発表と討議・および解説	同上	30
3	知的障害児理解と支援	同上	同上	30
4	肢体不自由児・重症心身障害児・医療的ケア児の理解と支援	同上	同上	30
5	視覚障害児・聴覚障害児の理解と支援	同上	同上	30
6	言語障害・場面緘黙のある子どもの理解と支援	同上	同上	30
7	発達障害児の理解と支援 —自閉スペクトラム症について	同上	同上	30
8	発達障害児の理解と支援 —学習障害・注意欠如多動性障害について	同上	同上	30
9	生活上の課題を抱える家庭の子どもの理解と支援	同上	同上	30
10	障害児と定型発達児	同上	他の文献等で基礎的内容について学習しておく	30
11	個別の支援計画の策定	同上	同上	30
12	障害のある子どもと家族の支援	同上	テキスト関連部分を読み、課題について整理しておく。	30
13	障害児支援の制度と職員間の連携・協働 関係機関との連携・協働	同上	同上	30
14	小学校等との連携	同上	同上	30
15	特別な配慮を必要とする子どもの保育に関わる現状と課題			
16	子どもの行動と発達援助 —子どもの発達と行動分析1	テーマについての講義	授業の内容について復習し理解しておく	30
17	子どもの行動と発達援助 —子どもの発達と行動分析2	同上	同上	30
18	子どもの行動と発達援助 —子ども発達と行動分析3	同上	同上	30
19	インターベンション(介入法) —発達的に適切な実践とは	テーマについてのプレゼンテーションと討議、解説	同上	30
20	インターベンション(介入法) —個別教授法・ポータープログラム	同上	同上	30
21	インターベンション(介入法) —社会的行動とソーシャルスキルトレーニング	同上	同上	30
22	インターベンション(介入法) —コミュニケーション・インリアルアプローチ	同上	同上	30

23	インターベンション(介入法) —自閉症スペクトラムと介入プログラムの実際	同上	同上	30
24	インターベンション(介入法) —活動に根差した介入1	同上	同上	30
25	インターベンション —活動に根差した介入2	同上	同上	30
26	インタベンション(介入法) —活動に根差した介入3	同上	同上	30
27	インターベンション(介入法) —活動に根差した介入4	同上	同上	30
28	インターベンション(介入法) —活動に根差した介入5	同上	同上	30
29	インターベンション(介入法) —活動に根差した介入6	同上	同上	30
30	障害児やその他の特別な配慮よ要する子どもの保育 についてのまとめ			
理解に必要な予備 知識や技能	予備知識として、定型発達についての知識が必要です。			
テキスト	斎藤他編著「子どもがともに育つための障害児保育」萌文書林 七木田・山根監訳「子どものニーズに応じた保育」二瓶社			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	上記テキストは学習ノート作成に必要です。その他必要な文献などは授業で紹介します。必要に応じて資料を配布します。			
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	授業以外に、テキストの各章を熟読し、予め準備して授業に参加すること。 後期授業で必要な、自己学習としてのノート作成及びレポートが課せられます。			
達成度評価に関す るコメント/課題に 対するフィードバッ クの方法	テキストを自己学習してのノート作成及びレポートが課せられます。提出期日を守ること、またその内容が評価の対象となります。事前学習や討議・グループワークでの理解度、レポートで評価します。			

